

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院麻酔科に、帯状疱疹後神経痛で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学麻酔科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

安静時機能的MRIデータを用いた線維筋痛症と帯状疱疹後神経痛の脳内機序を検討する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学麻酔科学講座 助教 黒崎弘倫

3. 研究の目的

皆さんが研究に参加されて、そのとき撮影して得られたMRIのデータを再利用する研究です。帯状疱疹後神経痛の患者さんと、同じく慢性疼痛である線維筋痛症の患者さんのデータを比較し、それぞれの疾患の発症に、脳の中のどのような変化があるかを確認したいと考えています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

帯状疱疹後神経痛の患者さんで、平成27年4月1日から令和3年3月31日までの期間中に、帯状疱疹後神経痛に対して機能的MRI検査を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者さんから得られた脳MRIに関する情報です。

(3) 方法

以前、患者さんに協力していただき、得られたMRIデータは私たちの教室で保管されています。そのデータと、私たちと一緒に研究している施設で保管されている、同じ慢性疼痛である線維筋痛症患者さんのデータを比較させていただきたいと考えています。また、皆さんが訴えておられる痛みに関連する不安の程度や「うつ」の程度が、2つの疾患のデータとどのように関連しているかも確認する予定です。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

ありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学麻醉科学講座 担当医師 黒崎 弘倫

TEL : 073-441-0611 FAX : 073-448-1032

E-mail : kurosakh@wakayama-med.ac.jp